

復興庁助成・東日本大震災発災10年復興発信事業  
文部科学省後援事業

## 東北復興宇宙ミッション2021について

東日本大震災発災から10年にあたる2021年3月11日に、東北復興の姿と支援への感謝の気持ちを国際宇宙ステーション(ISS)から全世界に発信する宇宙ミッションが実現した。国際宇宙ステーション(ISS)を放送局に、野口聡一宇宙飛行士をアナウンサー役に見立てている。並行して被災地各自治体から植物の種などの記念品を宇宙フライトさせ、ポスト震災10年の復興と伝承に役立てていく。

### 【事業の計画】

東日本大震災の記憶と復興10年のイメージを語る「写真」「記念品」「感謝の言葉」を国際宇宙ステーション(以下ISS)に打ち上げる。ISSを放送局に、野口宇宙飛行士をアナウンサー役に見立て、世界の注目を集める。

岩手、宮城、福島三県沿岸の全市町村を含む42市町村の首長を実行委員とし、実行委員長は山崎直子宇宙飛行士(一般財団法人ワンアース名誉顧問)である。

復興10年を語る写真等は、各自治体から電子データで集め、福島県川俣町特産の絹羽二重薄布に高精細印刷し、同町の福田小学校6年生たちが縦1m横7mの横断幕に縫製し、これを打上げISSの日本実験棟「きぼう」内に展開した。JAXA野口聡一宇宙飛行士がその前に立ち(浮き)、各地で集めた550通に及ぶ世界への感謝のメッセージを要約して読み上げる。この模様を動画に収録し、2021年3月11日、全世界に公開した。<https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

一方、被災各地からの記念品(ご当地の花や農作物の種等等)を打ち上げる枠も(自治体ごとに10g)設定し、ポスト10年の復興への期待を担い2021年6月に打上げ、横断幕とともに2021年7月に地上帰還、以後各地で地域活性化や産業創生、震災の記憶と教訓の伝承に息長く役立てる。

復興庁の助成(東日本大震災発災10年復興発信事業)と文部科学省の後援、そしてJAXAの協力を得て進められるこの事業は、復興発信と地域活性化のみならず、市民参加型の新しい宇宙利用の実例としても注目されている。

### 【主なスケジュール】

～2020年10月：横断幕製作(11月2日、JAXAへ引渡完了)

2020年12月中：自治体ごとにメッセージ収集

2021年1月：自治体ごとにフライトする記念品(ご当地の花や農作物の種等等)準備

2021年2月：横断幕打上(米国アンタレスロケット&シグナス補給船)

2021年2月：国際宇宙ステーションでJAXA野口宇宙飛行士が感謝のメッセージ動画を撮影

2021年3月11日：感謝のメッセージ動画世界公開 <https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

2021年6月4日：各地からの記念物品打上(米国ファルコン9ロケット&ドラゴン補給船)

2021年7月：横断幕、各地記念品とも地上帰還(米国フロリダ沖着水・ドラゴン補給船)

2021年7～8月：横断幕&各地記念品日本帰国、以後各地で復興および地域振興に活用

### 【実施体制】 敬称略・順不同・詳細別紙(被災地42市町村、復興支援6市町村)

委員長 山崎直子(宇宙飛行士・一般財団法人ワンアース名誉顧問)

委員 東日本大震災で被災した42市町村の首長(内訳は別紙の通り)

特別委員(復興に協力する全国の自治体) 上村英司(山梨県北杜市長)、大石弘秋(高知県仁淀川町長)、坂本浩之(福島県三春町長)、守本憲弘(兵庫県南あわじ市長)

事務局長 長谷川洋一(一般財団法人ワンアース代表理事・きぼうの桜計画代表)

特別協力 三陸鉄道株式会社、一般社団法人槌音、日本宇宙少年団福島分団、株式会社夢舞台、Tohoku Space Community、株式会社ElevationSpace、NPO法人チームふくしま、一般社団法人みちのく巡礼

# 東北復興宇宙ミッション2021の全体概要



## 東北復興宇宙ミッション実行委員会実施体制

委員長 山崎直子 宇宙飛行士・一般財団法人ワンアース名誉顧問

委員 水上信宏 岩手県洋野町長  
委員 遠藤謙一 岩手県久慈市長  
委員 小田祐土 岩手県野田村長  
委員 榎屋伸夫 岩手県普代村長  
委員 石原 弘 岩手県田野畑村長  
委員 中居健一 岩手県岩泉町長  
委員 山本正徳 岩手県宮古市長  
委員 佐藤信逸 岩手県山田町長  
委員 平野公三 岩手県大槌町長  
委員 野田武則 岩手県釜石市長  
委員 戸田公明 岩手県大船渡市長  
委員 戸羽 太 岩手県陸前高田市長  
委員 菅原 茂 宮城県気仙沼市長  
委員 佐藤 仁 宮城県南三陸町長  
委員 須田善明 宮城県女川町長  
委員 齋藤正美 宮城県石巻市長  
委員 渥美 巖 宮城県東松島市長  
委員 櫻井公一 宮城県松島町長  
委員 熊谷 大 宮城県利府町長  
委員 佐藤光樹 宮城県塩竈市長  
委員 寺澤 薫 宮城県七ヶ浜町長  
委員 深谷晃祐 宮城県多賀城市長  
委員 郡 和子 宮城県仙台市長  
委員 山田司郎 宮城県名取市長  
委員 菊地啓夫 宮城県岩沼市長  
委員 山田周伸 宮城県亘理町長  
委員 齋藤俊夫 宮城県山元町長

委員 大堀 武 福島県新地町長  
委員 立谷秀清 福島県相馬市長  
委員 門馬和夫 福島県南相馬市長  
委員 吉田数博 福島県浪江町長  
委員 伊澤史朗 福島県双葉町長  
委員 吉田 淳 福島県大熊町長  
委員 宮本皓一 福島県富岡町長  
委員 松本幸英 福島県楡葉町長  
委員 遠藤 智 福島県広野町長  
委員 清水敏男 福島県いわき市長  
委員 木幡 浩 福島県福島市長  
委員 藤原一二 福島県川俣町長  
委員 杉岡 誠 福島県飯館村長  
委員 白石高司 福島県田村市長  
委員 橋本克也 福島県須賀川市長

特別委員 上村英司 山梨県北杜市長 (きぼうの桜苗元)  
特別委員 大石弘秋 高知県仁淀川町長 (きぼうの桜苗元)  
特別委員 坂本浩之 福島県三春町長 (きぼうの桜苗元)  
特別委員 守本憲弘 兵庫県南あわじ市長  
事務局 長谷川洋一 (一般財団法人ワンアース代表理事)  
特別協力 三陸鉄道株式会社 日本宇宙少年団福島分団  
一般社団法人榎音 (岩手県大槌町)  
Tohoku Space Community 株式会社ElevationSpace  
株式会社夢舞台 (兵庫県淡路市)  
NPO法人チームふくしま 一般社団法人みちのく巡礼  
助成 復興庁 (東日本大震災被災10年復興発信事業)  
後援 文部科学省



## 「震災を知らない」子どもたちと、宇宙へ行く記念品を準備

参加各地域から10グラム程度の記念品を預かり、宇宙フライトさせ、帰還後に地域振興や産業創成に活用してもらうため、各地域と相談しながら物品の選定を行った。ワンアースは各地の希望を聞きつつ、宇宙の技術面・安全面などの制約を踏まえ、絞り込みを行った。同時にJAXAと安全審査対応、米国への輸出入対応などの調整を行った。こうして計画された各地の記念品は、それぞれ地域ごとに子どもたちの手で採取されたり、地域の生産者によって用意された。



福島県福島市で宇宙へ行くドングリの採取



岩手県大槌町で宇宙へ行くハマギクの花採取



宮城県多賀城市で宇宙へ行く古代米の採取



福島県須賀川市で宇宙へ行く牡丹の種採取

## 地域をあげて、宇宙への出発式

記念品は参加46地域のほか、三県枠も用意し、それぞれ県と調整した（福島県は宇宙酒の原料、宮城はパブリカの種、岩手は米「銀河のしずく」）。地域によっては子どもたちに参加してもらいつつ、宇宙へ行く種の採取式や宇宙への「出発式」を開催した



岩手県大槌町



岩手県洋野町



宮城県塩竈市



宮城県七ヶ浜町



宮城県多賀城市



福島県須賀川市



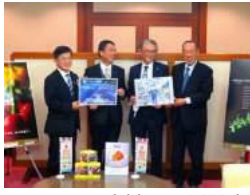
福島県田村市



福島県横菜町

## 三県知事への事業説明

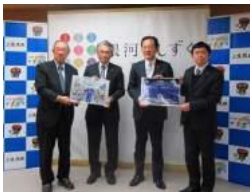
今回の事業は被災地の市町村を主役として計画しているが、各県復興担当部局にも事業を十分に説明し御理解いただくとともに記念品のフライト権を配分することとした。  
2020年12月、三県知事に説明を行い、同時に報道発表を行った。  
特に福島県の「東北復興宇宙酒」計画は大きな反響を呼んだ。



12月16日 宮城県・村井嘉浩知事表敬  
説明およびパブリカの種宇宙飛行を公表



12月17日 福島県・内堀雅雄知事表敬  
説明および日本酒原料の宇宙飛行を公表



12月18日 岩手県・達増拓也知事表敬  
説明および岩手米「銀河のしずく」の宇宙飛行を公表



## 宇宙から世界への感謝の動画撮影・編集・配信

東北復興宇宙ミッションのメインイベントである「宇宙から世界への感謝の動画配信」を予定通り3月11日0時より行った。

【収録】2021年2月25日、宇宙で横断幕を広げ、その前に野口聡一宇宙飛行士が立ち（浮き）、各地から収集した感謝のメッセージを要約した文章を「代読」する姿をハイビジョン撮影。地上ではJAXA大西卓哉宇宙飛行士が指揮する運用管制部隊がモニタリングし、軌道上の画像データをNASA経由で電送。

【編集】ワンアースで宇宙からの動画と各地から集めた画像や音楽を組み合わせ、13分31秒の動画に編集。

NASA/JAXAのチェックをクリアし、YouTubeにアップロード  
<https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

### 【構成】

- 00:00 詩の朗読
- 00:44 野口聡一宇宙飛行士による宇宙からのメッセージ
- 02:32 宇宙に掲げた横断幕製作風景&各地の原画
- 05:04 野口さん撮影による、宇宙での横断幕近接映像
- 07:43 復興10年を語る各地の映像
- 10:40 野口さんによる宇宙での作業風景&詩の朗読
- 11:26 山崎直子宇宙飛行士（実行委員長）ご挨拶

### 【被災地の出演】

岩手日報社、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社、及び毎日新聞社から復興10年を代表する写真を厳選して提供してもらった。被災地で震災後に生まれた歌（わせねでや、群青など）を被災地の合唱団（不来方高校、仙台南高校など）に歌ってもらい動画の随所にちりばめた。

### 【動画の公開】

リンクを3月10日正午に参加各市町村およびマスコミ各社に送信し、各市町村のHPでも動画が埋込表示またはリンクが表示されるよう依頼。マスコミ各社には3月11日0時報道解禁と指示した（朝刊に間に合うよう配慮）。

【報道実績】NHKニュース（6時台「おはよう日本」トップほか）、NHK Eテレ「世界にいいね! つぶやき英語」、NHK国際テレビ、TBSテレビ「Nスタ」、フジテレビ、BS11。日経新聞、サンケイスポーツ、産経新聞、毎日新聞、福井新聞、京都新聞、北国新聞、静岡新聞、山陽新聞、福島民報、福島民友、新潟日報、上毛新聞、神奈川新聞、河北新報、中日新聞、西日本新聞、日刊スポーツ、信濃毎日新聞、神戸新聞、琉球新報、宮崎日日新聞、千葉日報、茨城新聞、大分合同新聞 等々であった。

動画のクレジットには【助成】復興庁「東日本大震災発災10年復興発信事業」「心の復興」と明記した。

